

2021(令和3)年 東ト協 重大ニュース (順不同)

- 一、昨年来の新型コロナウイルス感染症が事業経営に深刻な影響を及ぼす中、各種支援策に関する情報提供や独自の利子補給など会員サポートを充実する
- 一、東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、大会期間中、東ト協は交通需要マネジメント(TDM)をはじめとした各種交通対策に協力する
- 一、東ト協の要望などにより、都内の物流・運送サービス従事者が、都の大規模接種会場における新型コロナウイルス優先接種の対象に追加される
- 一、「トラックフェスタ TOKYO 2021 Online」を開催する
- 一、全会員対象に会員サービス利用状況などに関するアンケート調査を行う
- 一、「東京都トラック協会の今後のあり方検討委員会」が中間報告を取りまとめる。サービス提供体制見直しや会員のデジタル化推進などが提言される
- 一、国土交通大臣告示「標準的な運賃」の届け出促進に向けてセミナーなどを継続実施する。(東京運輸支局管内の11月末時点の届け出率15・1%)
- 一、警視庁交通部に対し「貨物集配中車両に係る駐車規制の見直しの推進に関する要望」を提出し、さらなる駐車場所・スペースの拡充などを要請する
- 一、千葉県で発生した自家用トラックによる小学生死傷事故を踏まえ、「飲酒運転撲滅運動」を展開する。ミニのぼり旗を全会員に配布することなどにより意識向上と根絶を会員へ呼びかける
- 一、「グリーン・エコプロジェクトDX事業」を新たに実施する
- 一、SDGsの目標達成と持続可能な社会の実現に向け「未来のために私たちができること」をコンセプトにグリーン・エコプロジェクト活動に取り組む
- 一、東京都「貨物輸送評価制度」の評価を会員事業者320社(うちグリーン・エコプロジェクト参加は310社)が取得。5年連続で評価を取得した事業者30社(最優秀事業者4社・優秀事業者26社)が表彰される
- 一、昨年に引き続き感染防止策を講じて巡回指導を実施。Gマーク申請では郵送受付などの特別措置を受け、会員事業者の認定取得をサポートする
- 一、燃料価格高騰に伴う価格転嫁対策やトリガー条項の凍結解除などの支援策を全ト協と連携して与党・関係行政へ要請する
- 一、東京都と災害時の緊急輸送に係る諸条件を取り決めた「災害応急対策用貨物自動車供給契約」について、「標準的な運賃」告示を受けて内容を改定し、再締結する